



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月26日

上場会社名 キムラユニティ株式会社  
 コード番号 9368 URL <http://www.kimura-unity.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 昭二  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 小山 幸弘  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名  
 TEL 052-962-7053

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	35,870	3.3	1,046	17.8	1,292	15.0	673	21.9
29年3月期第3四半期	34,730	3.1	1,273	8.8	1,520	2.0	862	6.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,286百万円 (7,572.1%) 29年3月期第3四半期 16百万円 (97.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	55.80	
29年3月期第3四半期	71.49	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	51,649	27,747	50.8	2,172.47
29年3月期	50,959	26,786	49.8	2,104.19

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 26,218百万円 29年3月期 25,394百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		13.00		14.00	27.00
30年3月期		13.00			
30年3月期(予想)				14.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	4.3	1,730	1.1	1,980	0.9	1,150	10.3	95.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	12,070,000 株	29年3月期	12,070,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	1,699 株	29年3月期	1,699 株
----------	---------	--------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	12,068,301 株	29年3月期3Q	12,068,301 株
----------	--------------	----------	--------------

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、海外では北米での政策運営への懸念や北朝鮮情勢等の地政学リスクはあるものの、国内では雇用環境の改善や堅調な外需に支えられ、緩やかな回復基調で推移しております。

このような環境の中で当社グループにつきましては、物流サービス事業における、包装事業での主要顧客からの受注量の増加、格納器具製品事業での国内受注量の増加、自動車サービス事業における、リース及びメンテナンス契約台数の増加、国内子会社スーパージャンボでの販売量の増加等により、売上高は35,870百万円（前年同期比3.3%増収）となりました。

利益面においては、営業利益は物流サービス事業における北米子会社KIMURA, INC.での受注の遅れや、自動車サービス事業における車両リース事業でのリース満了車の売却台数の減少及び売却単価の下落等により1,046百万円（前年同期比17.8%減益）となりました。経常利益は営業利益の減益等により1,292百万円（前年同期比15.0%減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の減益等により673百万円（前年同期比21.9%減益）となりました。

なお、主なセグメント別の売上高（セグメント間の内部売上を含む）、営業利益の状況は次の通りであります。

## ①物流サービス事業

物流サービス事業は、格納器具製品事業において北米子会社KIMURA, INC.での大幅な受注の遅れはありましたが、国内での受注量が大幅に増加したこと等により、売上高は23,843百万円（前年同期比2.8%増収）となりました。営業利益は北米子会社KIMURA, INC.での売上高の減収に伴う悪化等により1,497百万円（前年同期比6.6%減益）となりました。

## ②自動車サービス事業

自動車サービス事業は、車両リース事業におけるリース契約台数の増加等により、売上高は11,070百万円（前年同期比3.8%増収）となりました。営業利益は車両リース事業におけるリース満了車の売却台数の減少及び売却単価の下落等により268百万円（前年同期比35.8%減益）となりました。

## ③情報サービス事業

情報サービス事業は、主要顧客からの受注量の増加等により、売上高は823百万円（前年同期比9.6%増収）となりました。営業利益は売上高の増収の影響により78百万円（前年同期比35.3%増益）となりました。

## ④人材サービス事業

人材サービス事業は、前期期中における関東、関西への営業所開設等により、売上高は400百万円（前年同期比21.3%増収）となりました。営業利益は管理コストの上昇を吸収できず0百万円の損失（前年同期は7百万円の損失）となりました。

## ⑤その他サービス事業

その他サービス事業は、売電サービスにより、売上高は36百万円（前年同期比1.7%増収）となりました。営業利益は12百万円（前年同期比5.3%増益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、51,649百万円、前連結会計年度末に比較して690百万円の増加となりました。その主な要因は、固定資産が株価回復に伴う投資有価証券の増加により570百万円増加したこと等によるものであります。負債合計は、23,902百万円となり、前連結会計年度末に比較して270百万円の減少となりました。その主な要因は、流動負債が賞与引当金の減少により387百万円減少したこと等によるものであります。純資産につきましては、前連結会計年度末に比較して960百万円増加の27,747百万円となりました。その結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比0.9ポイント上昇の50.8%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年10月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,852,833	5,307,177
受取手形及び売掛金	7,066,794	7,388,344
リース投資資産	10,163,484	9,943,902
商品及び製品	478,946	640,312
仕掛品	37,118	186,888
原材料及び貯蔵品	165,871	287,434
繰延税金資産	286,992	259,352
その他	781,788	940,396
貸倒引当金	△400	△600
流動資産合計	24,833,429	24,953,209
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,434,738	9,184,216
機械装置及び運搬具(純額)	517,366	480,855
賃貸資産(純額)	282,600	315,482
土地	6,753,914	6,748,042
建設仮勘定	20,103	310,124
その他(純額)	1,052,379	968,150
有形固定資産合計	18,061,102	18,006,871
無形固定資産		
のれん	234,856	208,144
その他	678,917	737,313
無形固定資産合計	913,774	945,457
投資その他の資産		
投資有価証券	4,185,246	4,810,044
繰延税金資産	392,150	181,398
その他	2,578,620	2,758,101
貸倒引当金	△5,136	△5,136
投資その他の資産合計	7,150,880	7,744,408
固定資産合計	26,125,758	26,696,737
資産合計	50,959,187	51,649,946

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,296,298	1,242,419
短期借入金	720,245	1,694,667
1年内返済予定の長期借入金	2,000,000	1,000,000
未払金	3,438,435	3,436,241
未払費用	2,026,318	2,505,916
リース債務	304,414	313,030
未払法人税等	428,283	258,083
賞与引当金	806,324	272,182
役員賞与引当金	12,000	-
その他	565,571	487,500
流動負債合計	11,597,892	11,210,042
固定負債		
長期借入金	2,000,000	3,000,000
長期未払金	6,926,827	6,504,490
リース債務	872,460	754,071
退職給付に係る負債	1,571,191	1,228,523
再評価に係る繰延税金負債	871,018	871,018
その他	332,989	334,203
固定負債合計	12,574,488	12,692,307
負債合計	24,172,381	23,902,350
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,580,350	3,580,350
資本剰余金	3,444,317	3,444,317
利益剰余金	17,340,551	17,688,149
自己株式	△1,423	△1,423
株主資本合計	24,363,795	24,711,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,006,271	1,333,734
土地再評価差額金	538,838	538,838
為替換算調整勘定	454,708	453,384
退職給付に係る調整累計額	△969,612	△819,243
その他の包括利益累計額合計	1,030,206	1,506,714
非支配株主持分	1,392,804	1,529,488
純資産合計	26,786,806	27,747,596
負債純資産合計	50,959,187	51,649,946

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	34,730,533	35,870,428
売上原価	29,023,663	30,323,266
売上総利益	5,706,869	5,547,161
販売費及び一般管理費	4,433,066	4,500,341
営業利益	1,273,803	1,046,820
営業外収益		
受取利息	12,010	14,487
受取配当金	62,852	54,824
為替差益	-	34,593
持分法による投資利益	211,319	170,788
その他	46,955	37,095
営業外収益合計	333,137	311,788
営業外費用		
支払利息	62,703	52,940
為替差損	14,673	-
その他	8,887	13,098
営業外費用合計	86,263	66,038
経常利益	1,520,676	1,292,570
特別利益		
固定資産売却益	2,628	1,170
投資有価証券売却益	122	-
特別利益合計	2,751	1,170
特別損失		
固定資産除売却損	19,232	27,702
契約解除損失	2,195	397
特別損失合計	21,428	28,100
税金等調整前四半期純利益	1,501,999	1,265,640
法人税、住民税及び事業税	486,699	432,266
法人税等調整額	43,592	40,029
法人税等合計	530,292	472,295
四半期純利益	971,707	793,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	108,882	119,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	862,824	673,442

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	971,707	793,344
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	218,035	327,462
為替換算調整勘定	△1,344,747	△45,360
退職給付に係る調整額	147,185	150,369
持分法適用会社に対する持分相当額	24,589	60,819
その他の包括利益合計	△954,936	493,290
四半期包括利益	16,770	1,286,634
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,619	1,149,950
非支配株主に係る四半期包括利益	△159,849	136,684



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,199,555	10,636,674	750,892	107,151	34,694,273	36,259	34,730,533	—	34,730,533
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31,995	—	223,070	255,066	—	255,066	△255,066	—
計	23,199,555	10,668,670	750,892	330,222	34,949,340	36,259	34,985,600	△255,066	34,730,533
セグメント利益又は損失(△)	1,602,930	417,816	58,287	△7,399	2,071,634	11,548	2,083,183	△809,380	1,273,803

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△809,380千円には、セグメント間取引消去3,122千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△812,502千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	物流サー ビス事業	自動車サー ビス事業	情報サー ビス事業	人材サー ビス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,843,451	11,035,045	823,025	132,023	35,833,545	36,882	35,870,428	—	35,870,428
セグメント間の内部売上高又は振替高	39	35,500	—	268,430	303,970	—	303,970	△303,970	—
計	23,843,490	11,070,546	823,025	400,454	36,137,516	36,882	36,174,399	△303,970	35,870,428
セグメント利益又は損失(△)	1,497,925	268,138	78,841	△915	1,843,989	12,156	1,856,145	△809,324	1,046,820

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△809,324千円には、セグメント間取引消去2,589千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△811,913千円が含まれております。その全社費用の主なものは、当社の人事、総務及び経理等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。